

第3回「先輩と語る」講演会

6年制薬剤師教育の目指すべき方向性 —米国での経験，教訓—

演者：清水 讓 先生（1期生）
米国ロードアイランド大学名誉教授

日時：11月25日（火曜日）17:00-18:30
場所：北海道大学薬学部臨床薬学講義室

主催：北海道大学薬学部
共催：日本薬学会北海道支部
後援：北海道大学薬学部同窓会

清水 讓（しみず ゆずる）先生は本学部1期生であり、1963年大学院薬学研究科博士課程修了（生薬学講座）後、米国マサチューセッツ州ウースター実験生物学研究所、ジョージア州ジョージア大学化学科を経て、1965年に本学部助手に就任されましたが、1969年には再び渡米され、ロードアイランド大学教授として活躍されました。

米国の薬剤師教育は日本より35年早く開始しました。清水先生はロードアイランド大学薬学部教授（天然物化学）として先端研究を続ける傍ら、カリキュラム改革など薬剤師教育に正面から取り組んできました。日本の薬剤師教育はスタートしたばかりですが、果たして米国での教育がモデルになるのか、多いに興味がある所です。当日は質問時間をもうけますので活発に質問していただけることを期待します。会場が狭いので早めにお越し下さい。

連絡先：北大大学院薬学研究院薬化学研究室 松田 彰（011-706-3228）
同 分析化学研究室 三浦敏明（011-706-3773）